

新たな運営主体による運営規模の比較

別紙2

No.	区域数	内訳	視点	評価	メリット・デメリット	総評	現場の声
1	5 区域	【1区域の内訳】 およそ 12クラブ～15クラブ 23クラス～37クラス 850人～1200人	利用者と地域の視点 (意見の反映)	×	利用者, 地域の声を反映しづらい。	○	<p>【A社】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スケールメリットや帳票作成の都合上, 運営規模が大きい契約がよいが, 大きすぎると指導監督の点で運営に支障あり ・受託可能な範囲は, 最大で20クラス程度 <p>【B社】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ごとに事務所を設置する都合上, 大きめな運営規模が望ましい。 ・12クラブ程度は問題なく受託可能。指導員を地域から確保できるのなら, 倍の24校区を受託することも可能 ・クラブを新設する場合, 指導員の確保の都合上, 2ケタのクラブを受託するのは困難
		【経営規模】 最大	事業者の視点 (効率的な運営)	◎	スケールメリットを生かした効率的な運営が可能となる。		
		【既存の区域】 PTA連合会区域	市の視点 (質の向上, 安定した運営)	×	参入可能な事業者の経営規模が著しく制限される。		
2	10 区域程度	【1区域の内訳】 およそ 5クラブ～8クラブ 11クラス～20クラス 450人～750人	利用者と地域の視点 (意見の反映)	○	利用者, 地域の声を比較的反映しやすい。	◎	<p>【C社】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・35～40クラスは一括受託可能 ・十分な準備期間を確保してもらえば, 全市域を受託することも可能 (ただし, 市内を複数者で運営した方が競争原理が働くと考える。)
		【経営規模】 大	事業者の視点 (効率的な運営)	◎	スケールメリットを生かした効率的な運営が可能となる。		
		【既存の区域】 なし	市の視点 (質の向上, 安定した運営)	△	参入可能な事業者の経営規模がやや制限される。		
3	25 区域	【1区域の内訳】 およそ 2クラブ～4クラブ 2クラス～10クラス 60人～370人	利用者と地域の視点 (意見の反映)	◎	利用者, 地域の声を反映しやすい。	△	<p>【C社】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・35～40クラスは一括受託可能 ・十分な準備期間を確保してもらえば, 全市域を受託することも可能 (ただし, 市内を複数者で運営した方が競争原理が働くと考える。)
		【経営規模】 中	事業者の視点 (効率的な運営)	×	スケールメリットを生かした効率的な運営に支障がある。		
		【既存の区域】 地域学校園	市の視点 (質の向上, 安定した運営)	○	参入可能な事業者の経営規模にほぼ制限がない。		
4	39 区域	【1区域の内訳】 およそ 1クラブ～6クラブ 1クラス～15クラス 30人～490人	利用者と地域の視点 (意見の反映)	◎	利用者, 地域の声を反映しやすい。	△	<p>【C社】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・35～40クラスは一括受託可能 ・十分な準備期間を確保してもらえば, 全市域を受託することも可能 (ただし, 市内を複数者で運営した方が競争原理が働くと考える。)
		【経営規模】 小	事業者の視点 (効率的な運営)	×	スケールメリットを生かした効率的な運営に支障がある。		
		【既存の区域】 連合自治会	市の視点 (質の向上, 安定した運営)	○	参入可能な事業者の経営規模に制限がない。		

※ 小学校区ごとの子どもの家(クラブ)には, 利用児童数に応じて複数のクラス(1クラブ平均2.3クラス)が存在する。